

# 総務教育常任委員会資料

(平成27年7月21日)

〔件名〕

- ・鳥取県自治体ICT共同化推進協議会第1回専門委員会の開催について  
【情報政策課】・・・1
- ・平成27年度事業棚卸しの対象事業の選定について  
【業務効率推進課】・・・2
- ・戦後70年記念事業「子どもたちの戦闘配置～学童集団疎開と  
満蒙開拓青少年義勇軍」の開催について  
【公文書館】・・・4
- ・「とっとり・おかやま新橋館」プレミアム商品券の発行とPRイベントの  
開催結果について  
【東京本部】・・・5
- ・とっとり・おかやま新橋館を活用した情報発信の取組等について  
【東京本部】・・・6
- ・「住む・働く・鳥取県 移住フェア in 東京」の開催結果について  
【東京本部】・・・7
- ・同志社大学との就職支援に関する連携協定の締結について  
【関西本部】・・・8
- ・「とっとりWorkWork（ワクワク）バスツアー」の実施について  
【関西本部】・・・9
- ・関西における県内事業者の販路開拓支援について  
【関西本部】・・・10
- ・名古屋における情報発信等について  
【名古屋代表部】・・・11

総 務 部



# 鳥取県自治体 I C T 共同化推進協議会第 1 回専門委員会の開催について

平成 27 年 7 月 21 日  
情 報 政 策 課

県と市町村が共同・連携して、情報システムの共同化や情報セキュリティに係る対策及び I C T 分野の人材育成などに取り組むための組織として、「鳥取県自治体 I C T 共同化推進協議会」を平成 27 年 5 月 12 日設立したところですが、本協議会の第 1 回専門委員会を開催しましたので報告します。

## 1 開催日

平成 27 年 7 月 7 日 (火)

## 2 参加団体

会員 20 団体 (県及び全市町村)、準会員 5 団体 (鳥取県町村会、広域行政組合等)

## 3 主な協議結果

### (1) 第 1 回システム共同化専門委員会 (専門委員長に米子市を選任)

ア 第一段階として、学校業務支援システム、電子申請システム、行政イントラシステム、図書館システム、グループウェアの計 5 つの部会を設置し、共同化に向けた具体的な検討に着手する。

イ 一部の市町村から、基幹業務システムについても検討を始めるよう提案があり、中期的課題として取り組むことを確認。

### (2) 第 1 回情報セキュリティ対策専門委員会 (専門委員長に倉吉市を選任)

ア セキュリティ対策の充実に対し市町村の関心が高まっていることから、セキュリティ対策システム等の共同化についても部会を設置し、具体的な取組の検討を行う。

イ 当面、今年 10 月頃に「情報セキュリティ対策合同研修会」及び担当者意見交換会を開催。

### (3) 第 1 回 I C T 人材育成専門委員会 (専門委員長に智頭町を選任)

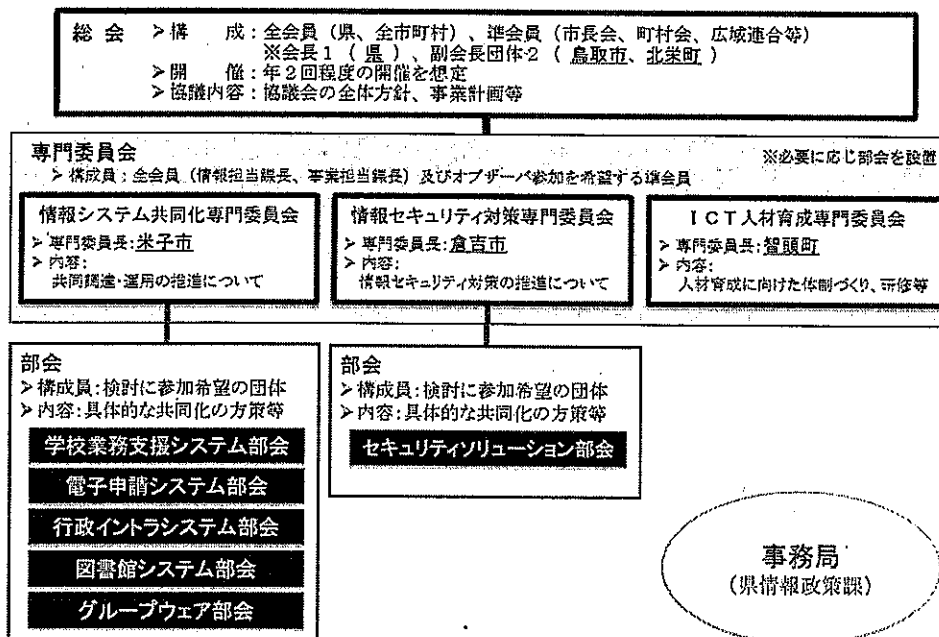
県・市町村間の情報交換会、I C T 担当者向けスキルアップ研修会の開催など。

### (4) 各専門委員会共通事項について協議

ア 県内全自治体参加による I C T 分野の連携協約の締結や、事務局経費の負担方法などについては、会長 (県)、副会長 (鳥取市、北栄町)、及び専門委員会委員長 (米子市、倉吉市、智頭町) で運営委員会を構成し、原案の検討を進めることを確認。

イ 協議会における取組状況を県のホームページに掲載して情報発信する。

## 4 協議会の組織体制



# 平成27年度事業棚卸しの対象事業の選定について

平成27年7月21日  
行財政改革局業務効率推進課

公開の場で、外部の視点により事業を点検し、予算の編成作業に活用することを目的として実施する「事業棚卸し」の評価対象事業が、7月1日の評価者会議で決定しましたので、次のとおり報告します。

## 1 評価対象事業

(1) 対象事業数 8事業 ※別紙のとおり

### (2) 選定の方法

県民委員を中心とする評価者が、次の①から③までの事業を除く事業の中から、事業棚卸しの目的に照らして評価対象を行うべき候補事業を抽出し、評価者会議での合議を経て対象事業を決定した。

- ①平成27年度の新規事業
- ②予算額（トータルコスト）が100万円未満の事業
- ③他の方法で外部の評価を受けている事業

#### [事業棚卸しにおける主な点検視点]

区分	視点
必要性	・目的を達成するために必要なものか、事業の目的に妥当性があるか ・ニーズや時代の変化により、役割が縮小していないか 等
効果性	・効果的な手法となっているか（規模、対象、目標、成果等） ・成果を踏まえて手段・手法は妥当であるか（費用対効果） 等
実施主体	・県が実施すべき事業であるか ・市町村や民間等との役割分担の点検が必要ではないか 等

#### [選定の流れ]

- 第1回評価者会議の終了後、評価を実施する候補事業を各評価者が選定した。
  - ・評価者には、平成27年度当初予算資料（議案説明資料）を配布するとともに、近年、事業棚卸しの対象となっていない分野の事業や、過去に棚卸し実施結果などを参考提示した。
- 第2回評価者会議の場で、あらかじめ評価者が選定した候補事業（54事業）について、複数の評価者が評価を実施すべきと判断された事業をもとに絞り込み、対象事業を選定した。

2 評価体制 評価者7名（うち公募委員（県民委員）5名）及びコーディネーター1名

## 3 評価の方法

- (1) 検討の時間： 棚卸し当日は、1事業あたり70分を目安に議論を展開する。
- (2) 進め方： 当日議論の前に、担当所属から成果や実施状況の確認などの事前調査を行う。  
現地調査の実施要否は、第3回評価者会議の中で議論を行う。
- (3) 評価の視点： 事業の要・不要の判断にとどまらず、事業の見直しや改善の方向性等について、県民視点での意見・提案を実施する。
- (4) 結果の活用： 評価結果は、県の最終判断ではなく、評価結果を参考として予算編成に活用する。

## 4 本番に向けたスケジュール

棚卸し本番 8月29日（土）及び30日（日）

第1回評価者会議：6月2日 … 評価の実施方法等の確認・意見交換を実施した。

第2回評価者会議：7月1日 … 評価対象事業を選定した。

第3回評価者会議：8月上旬 … 評価対象事業の実施状況等を調査する。

## 5 今後に向けた検討

次年度以降の事業棚卸しについては、事業棚卸しの意義・成果を踏まえながら、実施の可否も含めて抜本的な見直しを検討する。

(別紙) 平成27年度事業棚卸し対象事業一覧

No.	部局名	所属名	事業名	トータルコスト (千円)	うち 事業費 (千円)	事業の概要
			健康づくりの推進について			
1	福祉保健部	健康医療局 健康政策課	ココカラげんき鳥取県・ 健康マイレージ推進事業	33,271	14,635	県民一人ひとりが健康づくりの大切さを認識し、日常的に、地域全体で良い生活習慣を実践しようという機運を盛り上げるとともに、それぞれが支え合う環境をつくり、世代を越えて受け継がれていく「健康づくり文化」の創造へ繋げるため、協会けんぽ鳥取支部と連携した健康経営マイレージをはじめとした各種事業を行う。
2	福祉保健部	健康医療局 健康政策課	ウォーキング立県とっとり事業	8,000	5,670	健康・長寿の鳥取県を目指すため、一次予防としての運動習慣を定着させることが必要であり、誰でも手軽に取り組めるウォーキングを普及させ、県民が日常的にウォーキングに取り組む「ウォーキング立県」を目指した各種事業を展開する。
3	商工労働部	雇用人材局 就業支援課	就業基礎能力養成事業	4,639	3,086	近年、事務的業務以外の職種においても、最低限のパソコン操作を採用条件の一つとする企業が増える中で、パソコンをあまり使用したことがない求職者の早期就職を支援するため、基礎的なパソコン講習(マンツーマン形式)を実施する。
4	農林水産部	農業振興戦略監とっとり 農業戦略課	みんなでやらいや農業 支援事業	353,455	322,395	市町村が中心となって行う地域農業を核とした地域活性化の取組や意欲的な農業者の規模拡大などの経営発展の取組を支援し、地域の活性化や雇用の創出を目指す。
5	農林水産部	森林・林業振興局 県産材・林産振興課	県産木材・竹材製品開発・ 販路開拓支援事業	29,556	20,238	県産木材・竹材の需要拡大を図るために、県産木材・竹材を取り扱う事業者又は団体等に対して、県産木材・竹材の商品開発及び販路拡大等のビジネスプランの実践に対する支援を行う。
6	教育委員会	小中学校課	学校支援ボランティア事業	36,798	32,139	地域住民等の参画により、学校の教育活動を支援する仕組みをつくり、様々な学校支援活動を実施することに対して助成する。 ボランティアの学校支援活動に係る経費(例:生活支援や学習支援、樹木の剪定等の環境整備、登下校の見守り)、コーディネーター配置経費、運営委員会開催経費などを支援する。
			文化財の情報発信について			
7	教育委員会	文化財課	情報発信「鳥取県の文化財」	20,508	6,531	県民に文化財に関する情報を積極的に発信することにより、鳥取県の歴史や文化について理解を深めてもらうとともに、文化財に親しみを持ち、その重要性を認識していただき、文化財を大切に作る機運を高める。
8	教育委員会	文化財課	鳥取県の考古学情報発信事業	29,220	13,690	埋蔵文化財に関する情報を発信し、普及活動を行う。 普及資料(調査研究紀要や県内の考古学情報を提供する観光リーフレット等)の作成・配布や発掘資料の展示・活用(「来て!見て!!さわって!!!とっとり発掘速報展」「とっとり発掘物語展」「埋蔵文化財センター古代まつり」の開催等)等を実施する。

## 戦後70年記念事業

### 「子どもたちの戦闘配置～学童集団疎開と満蒙開拓青少年義勇軍」の開催について

平成27年7月21日

県立公文書館

#### 1 趣旨

戦後70年の節目の年にあたり、新鳥取県史編さん事業で明らかとなった満蒙開拓青少年義勇軍の歴史と神戸からの学童集団疎開の歴史を「子どもたちの戦闘配置」という視点で捉え直し、執筆者による講座と関連資料パネル展を開催することにより、戦争の記憶を次世代に継承する機会とする。

※「戦闘配置」ということばは、都市部の児童を避難させ次代の戦力を温存するという疎開の側面と、満蒙開拓青少年義勇軍がソ連国境近くに配置されたという実態を表すために用いているものです。

#### 2 内容

##### (1) テーマ 「神戸からの学童集団疎開～子どもたちの戦闘配置」

講師 石田 敏紀氏 (新鳥取県史編さん現代部会委員、県立倉吉西高校教諭)

期日 8月1日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 米子市立図書館2階 多目的研修室

展示 7月21日(火)～8月9日(日) 2階ギャラリーにて  
疎開先位置図や関係規程、新聞記事、写真など

※12月12日(土) 午前10時～ 鳥取県立博物館でも開催します。

##### (2) テーマ 「鳥取県の満蒙開拓青少年義勇軍～送出率日本一の理由」

講師 小山 富見男 (新鳥取県史編さん現代部会長、鳥取敬愛高校校長)

期日 8月8日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 倉吉交流プラザ2階 第1研修室

展示 7月22日(水)～8月9日(日) 1階ロビーにて

満洲移民地図、都道府県別送出数、義勇軍募集記事など

共催 倉吉市教育委員会

#### 3 その他

8月1日・8日の講座では県史編さん室発行の関連書籍を販売します。

鳥取県史ブックレット 7『満蒙開拓と鳥取県』(平成23年刊)

鳥取県史ブックレット15『鳥取県への学童集団疎開』(平成26年刊)

新鳥取県史手記編『孫や子に伝えたい戦争体験』上・下(平成21年刊)

## 「とっとり・おかやま新橋館」プレミアム商品券の発行とPRイベントの開催結果について

平成27年7月21日  
東京本部  
販路拡大・輸出促進課

鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で利用できるプレミアム付き商品券の発行PRイベントについて報告します。

- 1 開催日時 平成27年7月14日(火) 12:00~13:30
- 2 開催場所 とっとり・おかやま新橋館
- 3 開催内容 プレミアム商品券の説明、両県知事によるPR漫才、ココリコ遠藤のとっとりふるさと大使の就任、ココリコ遠藤・千鳥の「ももてなし応援団」の任命式、公約(応援内容)発表等
- 4 参加者 鳥取県知事 平井伸治、岡山県知事 伊原木隆太、ココリコ遠藤(吉本興業(株)所属)、千鳥(吉本興業(株)所属)
- 5 メディア取材(合計30社) NHK、日本テレビ、TBSテレビ、テレビ朝日等
- 6 商品券の販売額(7月14日付) 940千円
- 7 お客様の反応
  - ・開店と同時に複数冊購入し商品購入されていた。
  - ・ココリコ遠藤から直接購入しようと待ち受けしていたお客様もいた。
  - ・ランチなどで頻りに利用するお客様から、非常にお得感のある商品券との評価。
  - ・フルーツのお中元ギフトに商品券を利用するなど、5000円程度の比較的高価格帯商品の購入にも好影響を与えていた。

### 【参考】 「とっとり・おかやま新橋館」プレミアム商品券について

(1) 商品券販売・利用可能期間 平成27年7月14日~平成28年1月13日

(2) 発行する商品券の内容

金額： 6,000円綴(5,000円で販売)プレミアム率20%

商品券の内容： 1,000円券×6枚(発行部数1万枚)

販売・利用可能場所： 「とっとり・おかやま新橋館」



平井知事・伊原木知事によるPR漫才



出演者集合写真



「プレミアム商品券」販売風景

## とっとり・おかやま新橋館を活用した情報発信の取組等について

平成27年7月21日  
東京本部

鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」を活用した情報発信及び同館への誘客促進の取組について概要を報告します。

### 1 ヒト型ロボット Pepper (ペッパー) の「鳥取県宣伝部長」就任

(1) 日程：7月1日(水)～2日(木)

(2) 場所：とっとり・おかやま新橋館(1階エントランスほか)

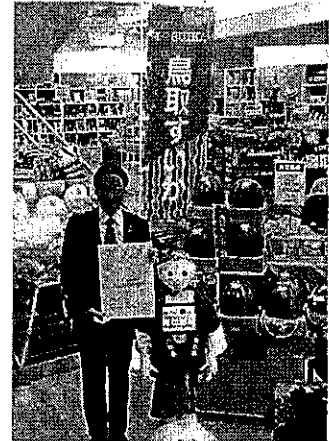
(3) 内容：

ア ヒト型ロボット Pepper (ペッパー) をとっとり・おかやま新橋館に2日間設置し、来館者への「鳥取すいか」の紹介や観光PRなどを行った。

イ 初日の1日には、知事が Pepper を「鳥取県宣伝部長」に任命するというプレス向けのイベントを開催した。

(4) 成果：

ロイター、AFP、TBS、共同通信など計18社のマスコミが取材に訪れ、テレビ・新聞等で広く国内外に報道された。また、Pepper を目的に来館される方もおられるなど来館者の反応もよく、特に訪日外国人客からは驚きをもって高く評価された。



(「鳥取県宣伝部長」任命式の模様)

### 2 「梅雨を楽しもう！ にじいろキャンペーン」の実施

(1) 期間：6月13日(土)～7月12日(日)

(2) 場所：とっとり・おかやま新橋館全館

(3) 内容：梅雨の時期の集客対策として実施。

ア 「にじいろ特産品」をGET！

館内で1日1,500円以上お買い物・お食事をされたお客様のうち、抽選に参加された方の中から24名様に、「にじいろ特産品」をプレゼント。

イ 「あめいジングあめふれラリー」に挑戦！

雨の日にお買い物・お食事をされたお客様には、「あめふれラリー」カードに1日1ポイント！期間中5ポイントで、ステキな景品をプレゼント。

ウ 雨の日はあめちゃんGET！

雨の日に来館されたお子様(小学生以下)に、飴のつかみ取りをプレゼント。

(4) お客様の反応など

・「にじいろ特産品」プレゼントへの応募者数も多く(2,547点)、あめふりカードのポイントをためるのを楽しみにしているお客様がいるなど、梅雨で集客が心配されたが、一定の集客が確保できた。

### 3 鳥取県・岡山県連携企画「鳥取すいか&岡山もも 試食販売及び野菜ソムリエセミナー」の実施

(1) 試食販売

ア 日時：7月5日(日) 11:00～16:00

イ 場所：とっとり・おかやま新橋館1階プロモーションゾーン

ウ 内容：鳥取県産すいかと岡山県産ももの試食販売を実施。

(2) 野菜ソムリエセミナー

ア 日時：7月6日(月) 14:00～16:00

イ 場所：とっとり・おかやま新橋館2階催事スペース

ウ 内容：野菜ソムリエや県職員による「すいか」と「もも」の特徴やおいしい食べ方を紹介するために一般社団法人日本野菜ソムリエ協会と連携して実施。

エ 参加者：飲食店関係者など26名



## 「住む・働く・鳥取県 移住フェア in 東京」の開催結果について

平成27年7月21日  
とっとり暮らし支援課  
東京本部

鳥取県へのI・J・Uターンの促進を図るため、移住希望者の移住に関する様々な疑問に応える移住相談会「住む・働く・鳥取県 移住フェア in 東京」を下記のとおり開催しました。

鳥取県内の市町村や関係団体が相談ブースを設置し、鳥取での暮らし、就職、農林業、起業、住宅、子育てなどの移住相談に対応するとともに、とっとり暮らしアドバイザー（先輩移住者）にも参加いただき、出展団体によるプレゼンテーション「とっとり暮らしセミナー」も併せて行いました。

会場には、若者を中心に90組を超える相談者が訪れ、熱心に各ブースでの説明を聞き、会場は大変賑わいました。

今後は、フェアへの来場者に対して、ふるさと鳥取県定住機構の移住相談員や各市町村がフォローアップを行い、本県への移住の促進を図ります。

### 記

- 日時 平成27年7月11日（日） 午前11時から午後4時まで  
○移住・就職相談（午前11時～午後4時）  
○とっとり暮らしセミナー（午後1時～午後2時40分）
- 場所 東京交通会館12階 カトレアサロンA（東京都千代田区有楽町2-10-1）
- 来場者数 96組
- 概要

#### (1) 開催概要

##### ○移住相談会

15市町、関係機関等の相談ブースを設置し、各ブースにおいて移住相談に対応。

##### 【ブース出展団体】

（市町村）鳥取市、米子市、倉吉市、岩美町、若桜町、智頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、大山町、南部町、日南町、日野町、江府町

（農林業）（公財）鳥取県農業農村担い手育成機構、（公財）鳥取県林業担い手育成財団

（起業・創業・就職）鳥取県商工会連合会、（公財）ふるさと鳥取県定住機構

（住宅）（公社）鳥取県宅地建物取引業協会、鳥取県住宅供給公社

（子育て）鳥取県子育て応援課

※とっとり暮らしアドバイザー（先輩移住者）11名参加。

##### ○とっとり暮らしセミナー（出展団体によるプレゼンテーション）

18団体が、地域の魅力、支援制度などについて説明を行った。



#### (2) 参加者の声

○大学の時に就職活動で訪れた鳥取が大好きになった。希望する就職先を鳥取で見つけ、ぜひ移住したいと考えている。（埼玉県 20代女性）

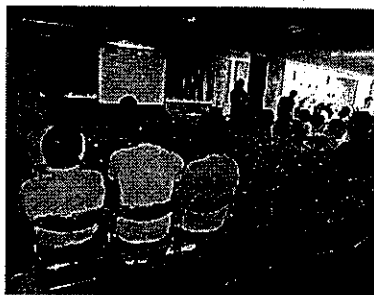
○鳥取市へのUターンを考えて来場した。鳥取市ブースで鹿野町を紹介いただき、希望を見出せた。是非前向きに移住を考えます。（東京都 20代女性）

○高校生の息子が鳥取大学（医学部）に進学希望しているが、合格したら一家そろって米子市に移住したいと考えている。（埼玉県 50代夫婦）

○温泉が好きなので東京の大学を卒業したら温泉がある三朝町で田舎暮らしをしたいと思って相談に来た。（埼玉県 20代男性）

○田舎暮らしに憧れ、地方でも仕事ができる資格を取得し、自然豊かな日南町に移住したい。（千葉県 40代女性）

○アニメ「Free!」のファンで岩美町に移住したいと考え相談に来た。本気で移住を考えている。（神奈川県、栃木 女性3人組）



# 同志社大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成27年7月21日  
関西本部  
雇用人材局就業支援課

関西における県出身学生等のIJUターン就職を推し進めるとともに、鳥取県の地域経済を支える人材の育成及び確保を図るため、このたび同志社大学（京都市上京区）との就職支援協定を7月中に締結することとなりました。

## 1 協定の目的・狙い

- (1) 同志社大学に在籍する鳥取県出身の学生は117名（H26.4現在）あり、関西圏の大学では3番目に多い。  
また、理工学部・スポーツ健康科学部・生命医科学部といった理系学部を有しており、Uターン就職率の低い理系学生への働きかけに資するものとなる。
- (2) 同大学の学生数は29,000名余り（H26.5現在；大学院含む）と、関西圏の私立大学では立命館大学、近畿大学、関西大学に次いで多く、県出身学生その他、Iターンを希望する他地域出身学生への波及効果も期する。

## 2 協定内容及び取組み

協定は県、大学及び（公財）ふるさと鳥取県定住機構の3者で締結し、学生に対してはより直接的かつ密接的な情報発信や支援体制で取り組む。

- (1) 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知に関すること  
…県出身学生へのメール配信等による直接的な情報発信、情報提供
- (2) 大学学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催に関すること  
…学内就職相談会、企業ガイダンスの実施
- (3) 学生の就職に係る情報交換及び実績把握に関すること  
…県内出身学生（入学、就職時）の数値情報、傾向等の提供
- (4) その他学生のIターン・Jターン・Uターン就職促進に関すること  
…企業と大学の担当者との情報交換会への開催

## 3 その他（参考）

### (1) 同志社大学について

- ・1875年（明治8年）、新島襄が京都寺町に「同志社英学校」を開校。「自由」と「良心」に立ち、キリスト教主義教育、自治自立の精神、国際感覚豊かな人物の育成を教育理念とする。
- その後、改称や再編等を経て、1920年（大正9年）に大学令に基づく「同志社大学」として開校。
- ・これまでに広島県、愛媛県、徳島県、香川県、岡山県、高知県との就職支援協定を締結しており、都道府県との協定は鳥取県が7例目。

### (2) 関西圏の大学との協定について

本県と関西圏の大学との協定締結状況は以下のとおり。

区分	大学名（締結時期）
包括協定	龍谷大学（H22.7）、京都女子大学（H27.6）
就職支援協定	神戸学院大学（H26.2）、立命館大学（H26.7）、 武庫川女子大学・同短期大学部（H26.7）、関西大学（H26.11）

- ・引き続き関西圏の大学のさらなる連携・協力を得て、鳥取ゆかりのネットワーク等の活用も図りながら、地域経済を支える人材の育成及び確保の強化に努めるものとする。

### (3) 就職支援事業について

県外に進学する高校生のおよそ4割（750名程度）は関西圏の大学等に進学しており、龍谷大学との包括連携協定に基づく「関西圏人材確保モデル事業」の成果や、関西圏への大学の協力を得て実施したUターン就職率の調査結果等を踏まえ、大学との連携協定に基づく就職支援事業は県内への人材確保において有効と認められる。

# 「とっとり WorkWork (ワクワク) バスツアー」の実施について

平成27年 7月21日

関 西 本 部

県出身者をはじめとした関西圏の大学生を対象とし、県内産業界等との直接交流及び車内講座での情報提供により県内の産業、企業情勢等についての認識や理解を深めていただくことで、将来の鳥取県内での就業意識を高め、IJUターン就職の促進を図ることを目的として、バスツアーを実施します。

1 対象者 鳥取県出身者をはじめとした3年次生中心の関西圏の大学生(定員40名)(参加料は無料)

2 開催日 平成27年8月7日(金) 京都地区の学生を中心に鳥取県東部地区を訪問  
※9月16日(水)に2回目のバスツアーを大阪・神戸地区の学生を中心に鳥取県西部地区で実施の予定

## 3 実施内容

### (1) 往路バス車内キャリア講座

学生の就業意識と鳥取県で働くことの意義について考えるミニ講座と鳥取での就職についてのガイダンス

### (2) 鳥取県若手経営者、Uターン経験者とのランチ交流会

鳥取で働く先輩たちの職業観、企業・業界を知る

#### <参加企業>

- ・(株)JCBエクセ：クレジットカード事業を中心とした事務系バックオフィス業務の管理・運営
- ・(株)LASSIC：企業や地域が抱える課題を解決する注目のIT企業
- ・トゥリーアンドノーフ(株)：無農薬有機農法で野菜を栽培。システム開発企業のグループ
- ・(株)nido：オリジナルブランドでガーデニングエクステリア用品など企画、デザイン、販売
- ・(株)Treesカフェソース：地元の人にも観光客にも大人気のカフェ、夢はアジアの主要都市へ
- ・(有)ひよこカンパニー大江ノ郷自然牧場：天然原料の飼料でのびのび育てた鶏が産む「天美卵」とスイーツ

### (3) 企業訪問(企業説明及び施設見学)

#### ○(株)JCBエクセ(鳥取市若葉台)

大手クレジットカード会社である(株)ジェシービーの事務拠点として2014年、鳥取市に設立。従業員が生き生きとモチベーション高く働ける職場環境にすると共に、地元経済や雇用環境の向上に寄与し、地域の皆さまに愛され、ともに歩んでゆける企業を目指しています。

#### ○(株)ササヤマ 古海工場(鳥取市古海)

精密プレス金型設計製作、生産設備は業界トップクラス。第44回グッドカンパニー大賞受賞のグローバル企業。自動車部品と弱電を中心に、多種多様な金型を国内外の一流メーカー様向けに設計・製作する社歴40年超の地元鳥取の企業です。平成28年には鳥取市内に新工場建設等、業容拡大中です。

### (4) とっとり若者仕事ぶらざ視察(若者のあらゆる就職支援を行うセンター)

4 主催 鳥取県関西本部、(公財)ふるさと鳥取県定住機構

## 5 昨年度のバスツアー参加学生の声

- ・短い時間でしたが、様々な方のお話を聞いたり、鳥取に帰って働くことを支えている方の存在を知ったり、充実した時間になりました。参加して良かったです。
- ・参加させていただいて更に鳥取で就職したいという気持ちも強くなりました。今後の就活に役立てていきたいと思います。
- ・鳥取の企業の一部ではあるけど、説明を受けることができて良かったです。今日見た企業以外にも自分で調べてみようと思います。

6 その他 関西圏の大学との連携事業等取材の一環として毎日放送が本企画を取材予定

## 関西における県内事業者の販路開拓支援について

平成27年7月21日

関西本部

関西本部では、関西圏での販路開拓を目指す県内事業者の営業力及び商品力の向上を目的とした支援を、昨年度に引き続き、定期展示商談会の開催前に実施しています。

### 1 第1回商品クリニックの実施結果

- (1) 日 時 6月19日(金) 午後0時45分から午後5時まで
- (2) 参加者 県内事業者19社25名(うち初参加10社15名)、県内支援機関9機関12名
- (3) 対象商品 新規開発中又は改良意向のある加工食品等
- (4) 実施内容

ア 「機能性表示食品制度」を商品PRに活用しよう(講義)

講師: 鳥取県福祉保健部健康政策課職員、(地独)鳥取県産業技術センター職員

イ 4分野別(商品卸(小売)、百貨店・スーパー、外食産業、商品開発)の関西バイヤー等による個別クリニック

※(地独)鳥取県産業技術センター食品開発研究所の施設見学をオプション企画として、当日午前中に実施

#### (5) 参加者の主な意見

ア 食品開発研究所での説明は非常にわかりやすかった。ぜひ施設を使用して商品開発したい。

イ 関西の量販店、エンドユーザーのニーズがよく分かった。商品についてのアドバイスも具体的であった。

ウ 売り手の視点から生のアドバイスをいただき、具体的な販路開拓のイメージを持てた。

エ 以前から気になっていたパッケージ等についてよいアドバイスをいただき、改善の後押しになった。

#### (6) 今後の課題

参加事業者がクリニックの助言を踏まえて行う商品改良のフォロー体制の充実を図る必要がある。

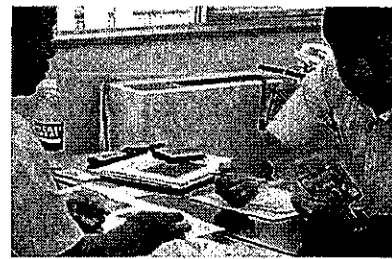
### <実施状況>



食品開発研究所の見学



機能性表示制度の講演会



商品クリニック

### 2 平成27年度第1回定期商談会の開催計画

- (1) 日 時 7月30日(木) 午前11時から午後5時30分まで
- (2) 開催場所 鳥取県関西本部 交流室
- (3) 対象者 関西で販路開拓を目指す県内事業者(ただし、関西に営業部門を持たない者に限る。) 定員20事業者
- (4) テーマ 平成27年秋・冬に向けた商品提案
- (5) 来場バイヤー 食品問屋、通信販売、百貨店、スーパー、飲食店関係者など

### 3 今後のスケジュール(予定)

- 平成27年11月 第2回商品クリニック(会場:県内)
- 平成28年2月 商談会(会場:関西本部)

# 名古屋における情報発信等について

平成27年7月21日  
名古屋代表部

1 JR名古屋駅での鳥取県観光PRイベント「早ッ!近ッ!夏休みは鳥取へGO!GO!」の開催結果  
行楽シーズンである夏期の誘客のため、中京圏で最も利用者が多い名古屋駅中央コンコースで鳥取県の魅力をPRするイベントを開催しました。



## ① 事業概要

項目	会場	実施時期	備考
鳥取県PRイベント	名古屋駅イベントスペース(中央)	7月4日(土)～ 7月5日(日) 10:00～18:00	※内容は②のとおり

## ② 名古屋駅イベントスペース(中央)での鳥取県PRイベント内容

- ・7月5日(日)には鳥取県出身の石浦関も参加し、石浦関から鳥取県での思い出を語る形で鳥取砂丘、白イカなどを紹介いただき、会場大いに盛り上がりました。
- ・この他にも、砂の美術館 砂像マイスターによるミニ砂像の公開制作やとっとり観光親善大使、鬼太郎やコナンによるPRステージ等のイベントを実施するとともに、鳥取県PR資料を来場者に対し配布(2,000部)しました。
- ・また、イベントの様子が地元中京テレビの夕方のニュースで放映され、広くPRを行うことができました。



## 2 その他の情報発信等

### (1) 名鉄観光サービスでの観光PR【実施済】

- ① 日時: 7月11日(土)
- ② 場所: 名鉄一宮駅 コンコース
- ③ 内容: JR東海道線と名鉄本線の合同ターミナルとして多くの方が利用する名鉄一宮駅で夏休みに向けて鳥取県観光のPRを初めて実施しました。当日が一宮市のプレミアム商品券の発売日と重なり、通常にも増して多くのお客様がブースに来られるなど、効果的なPRに繋がりました。



### (2) 情報番組での鳥取県観光PR

- ① 放送日: 7月23日(木)
- ② 番組名: キャッチ!(中京テレビ) 15時50分～
- ③ 内容: 夏休み期間中の鳥取県観光をPRするため、中京圏で多くの方が視聴する情報番組とタイアップして鳥取砂丘、三徳山三佛寺、水木しげるロードなどを紹介します。今回は、番組内の特別コーナー(15分)で放送するとともに、翌週の番組内で鳥取県観光をPRするCMも流れます。

